

第10回学童保育指導員労働問題基礎講座

【テーマ】「指導員として息長く働き続けるために
～ 保育の質・専門性・労働条件の関連を考える～」(仮題)

子どもの最善の利益を考え仕事に励む指導員が安心して働き続けられることは、学童保育全体にとっての利益です。私たちは、指導員がよりよい職場環境・条件をつくる上で必要と思われることをテーマにこの講座を設けてきました。

県内の指導員の半数が勤続3年未満であり、安定して働き続けることができていません。

指導員連協東上沿線ブロックが昨年行った調査によると、「指導員を辞めようと思ったことがある」が71%。「指導員を辞めようと思った理由」は、「低い賃金55% 父母との関係48% 不安定な雇用47% 同僚指導員との関係39%」と回答しています。一方で「どんなところに充実感や喜びを感じますか?」の問いに「子どもの成長していく姿をみることが出来る66人 子どもと信頼関係を築けたから48人」 子どもとの関係が続き、「保護者との信頼関係10人」があがります。

子どもと親を支える指導員の仕事を続けたいと願いつつ悩む姿がここにはあります。

安定して働く労働条件をつくっていくためにも、指導員の仕事の質や専門性を自ら高めることが求められます。垣内先生と一緒に考えたいと思います。

日時 11月28日(金)

9:20開場 9:40~11:40

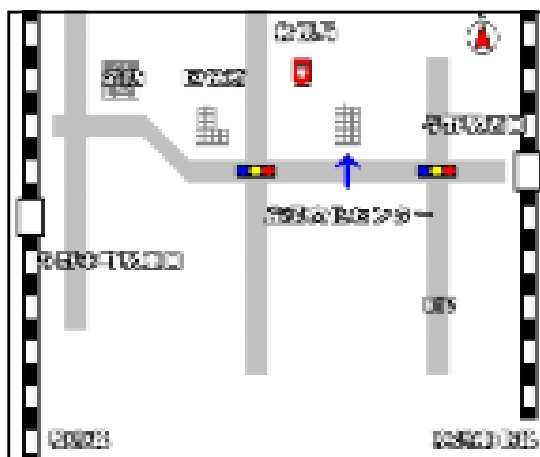
会場 さいたま市産業文化センター

(車はご遠慮下さい)

講師 垣内国光氏

(明星大学人文学部教授)

参加費 県連協・指連協会員は無料、非会員は300円



主催 埼玉県学童保育連絡協議会・同指導員連絡協議会

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町4-1005

TEL 048-644-1571 FAX 048-644-1572 e-mail:gakudoust@yahoo.co.jp

垣内国光編著『保育者の現在～専門性と労働環境』(ミネルヴァ書房)

「プロとして保育者を処遇する～保育の質・専門性・労働条件」より

保育の質を確保するための3条件 専門性、ミッション性、労働条件

...私がかねて、...福祉、看護など対人的専門的援助労働を業とする仕事において、援助の質を確保するには、専門性とミッション性と労働条件の3つの条件が必要だと考えてきました。対人のケアを業とする専門職は、対象が具体的なニーズを持つ個人や集団であり、場面場面で瞬間的応答的な個別の処遇が必要で、かつ、クライアントと魂の交換をともなう関係性を形成することが求められており、狭い意味での専門性だけでは質を維持できないと考えるからです。

(1) 専門性

保育にしる福祉にしる看護にしる対人援助に専門性が必要であることはいうまでもありません。この専門性は4つの要素から成立していると考えられます。

一つは、専門的な知識と技術です。...

二つは、実践の裁量性です。...園長から言われたことしかやらない保育、できない保育が求められているわけではありません。裁量性が発揮できない保育では子どもの発達を保障することは不可能です。市場化ですすむマニュアル保育とは対極にあります。

そして三つめは、経験です。...四つめは資格です。...資格を持っているからといって自動的に良い保育ができるわけではありません。最低の基礎要件としての資格が必要です。

(2) ミッション性

保育への使命感です。ミッションといえば難しく聞こえますが、保育をすることの社会的な意味が現場と経営に自覚されているか否かと言うことが重要です。...子どもたちや父母の利益になることは一生懸命になり、子どもたちや父母の不利益になることをきちんと代弁する姿勢がとれることもプロの証でもあります。...

(3) 労働条件

第3は労働条件です。専門性を維持向上させミッション性を高めていくためには、働き続け学び続け保育者をプロとして処遇する労働環境を保障しなければなりません。賃金労働時間の保障、研修権の保障、労働組合活動の自由の保障も必要です。...かつて保育は「愛と奉仕の職業」でした。...この21世紀に、保育者が長時間過密労働で生活保護水準にも劣る賃金レベルでよいなどということは許容されることはありません。ゆとりを持って子どもに接することができる建物施設等の物的条件とともに、人的な条件が必要です。疲へれ果て意欲を持続することのできない労働条件のもとでは専門性の維持向上はありえないからです。

垣内国光(かきうちくにみつ)

1949年生まれ。日本社会事業大学卒業、法政大学大学院修士課程(社会学)修了。日本福祉大学を経て、現在、明星大学人文学部教授

専門：児童福祉、保育政策、子育て支援論、福祉労働者論

主著：『子育て支援の現在』(編著)ミネルヴァ書房、2002年、『民営化で保育がよくなるの?』ひとなる書房、2006年